

区分	評価指標	H28実績	H29実績	H30実績	前年度比	図書館運営全体		
図書館運営	基本的サービス					自己評価		外部評価
	資料購入費：決算数値(千円)	13,335	9,905	8,345	0.84	資料購入費が年々削減される中、着実な蔵書点数増 年々厳しくなる予算事情の中で、適正・的確な選書に努め蔵書を伸ばしている。		・資料購入費の減額にとられることなく、その中で利用者のニーズなども的確に組み入れ、効率的な蔵書の充実へ努めている。 ・貸出点数、入館者数の増加は、地の利もあるが職員の対応の良さもある。 ・厳しい予算の中で、蔵書を増やしているのはありがたい。 ・利用者数、登録者数ともに増加している。開館前に沢山の方が待っていて、図書館への期待が大きいことを感じている。 ・館の充実が着実に進んでいて良い。 ・「ブックスタート」で赤ちゃんの貸出カードが作れると良い。
	蔵書点数(点)：図書・AV	111,624	114,860	116,881	1.02	・利用、登録者、入館者数はいずれも増加 貸出点数、登録者は市全体で年々減少している中で、亀田図書館は増加した。 ・入館者数は毎年右肩上がりが増加 市全体では年々減少していたが、今年度は微増となった。 その中でも亀田図書館は年々入館者が増加しており、今年度は2%増加し、市全体の入館者数に大きく貢献した。		3 大変評価する。 87.7% 2 ある程度評価する。 14.3% 1 評価できない。
	個人の貸出点数(点)：雑誌・AV含む	372,579	366,419	368,050	1.00			
	個人の登録者数(人)	12,083	12,237	12,686	1.04			
	(内新規登録者数)	1,540	1,468	1,439	0.98			
	入館者数(人)	168,663	168,688	171,569	1.02			

区分	評価指標	H28実績	H29実績	H30目標	H30実績	自己評価	R1目標	評価(次年度への展開)		
施策・事業へ各図書館	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」					自己評価		外部評価		
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	4,965	7,635	7,500	6,519	1	6,520	・レファレンスの総数は前年よりも減少したが、そのうち「所蔵調査」は、インターネットによる蔵書検索や予約が普及していること、館内案内図等の表示をわかりやすく工夫したこと等による影響。その反面、より専門的な事項調査(調査・相談)は大きく増加し、図書館の役割や取り組みが浸透してきていると思われる。 ・予約は、受取館を指定できるため、通勤通学途上にある亀田図書館の利便性の高さが選ばれて増加しているものと思われる。	3 大変評価する。 71.4% 2 ある程度評価する。 28.6% 1 評価できない。	・レファレンスは件数よりも、個々の内容と対応する職員の取り組み方が重要。 ・わかりやすい館内案内図は必要である。 ・レファレンス件数は減っているが、インターネットで自分でも調べられるようになっているので、より専門的なことが調べられる図書館の存在が大切。 ・予約件数の増加は良い。駐車場が広く無料で利用できるのも良い。 ・所蔵調査はできるだけ省力化し、その分、専門的な事項調査にまわせると良い。 ・レファレンスは、受付職員個人だけでなく、職員全員で対応しており、安心して依頼できる。
	個人予約件数(件)	53,678	53,797	54,000	56,773	3	56,000			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	-	-	-	-	-	-			
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」					自己評価		外部評価		
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	6,007	6,368	6,500	6,668	3	6,900	・郷土や行政資料など、地域資料の収集を積極的におこない、蔵書増につなげることができた。 ・郷土関係の資料展示を実施するなど、市民へ地域資料のPRをおこない、目標達成することができた。	3 大変評価する。 100% 2 ある程度評価する。 1 評価できない。	・地域資料の収集に努めている。 ・地域事業との協働に努めている。 ・郷土資料、行政資料は、地元図書館にしか頼れない大切な資料である。その蔵書を着実に増やしているのは良い事業展開である。 ・郷土や行政資料、地域資料の蔵書を増やし、展示を実施して市民に知らせたことは良い。 ・今後も地域資料の充実を図ってほしい。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	3,168	3,238	3,300	3,561	3	3,800			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	0	0	0	0	-	0			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	4	6	5	6	3	5			
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」					自己評価		外部評価		
	児童書の貸出冊数(冊)	103,861	103,350	104,000	104,764	3	104,500	・児童書の貸出冊数、小中高の学校貸出冊数、子ども向け対象事業ともに対前年よりも増加し目標を上回る実績をあげることができた。 ・おはなしのじかんの際に、館内利用者へ声かけをするなど、参加者増加への取り組みを行ったほか、赤ちゃんタイム(毎週水曜日)に、火曜日を加えて拡充、児童テーマ展示を7回行うなど、児童書の利用促進と事業を積極的に行った。 ・職場体験受入れ、職員派遣については、相手先があることなどから流動的だが、図書館の取り組みを積極的に広報した結果、概ね目標を達成。 ・公民館等との連携・協力事業については、文化会館合同事業など、複合施設の利点を生かした事業に取り組んだ。	3 大変評価する。 85.7% 2 ある程度評価する。 14.3% 1 評価できない。	・子供が本に親しむ環境を積極的に推進している。 ・小中高の学校貸出を実施し、児童書の貸出冊数が増えたのは良い。図書館に来る親子も増加している。 ・「赤ちゃんタイム」を水曜に加えて、火曜にまで拡大したのは良い。 ・児童書の貸出冊数等で目標を上回る実績をあげていて良い。 ・小中高生個人への貸出数の増加は嬉しいため、学校への何らかの働きかけができると良い。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	1,002	978	1,000	1,126	3	1,000			
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	1,005	1,151	1,150	1,255	3	1,300			
	職場体験受入人数(人)	11	12	10	8	2	8			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	11	4	7	11	3	4			
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	1	2	3	2	2	2				
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」					自己評価		外部評価			
図書館ボランティア活動者数(延人数)	513	369	450	431	1	450	・市民参画と協働事業に積極的に取り組んだ結果、すべての項目で対前年よりも実績が増加し、目標も概ね達成できた。 ・昨年に引き続き、江南区読み聞かせボランティア交流会を独自開催し、意見交換や情報共有を図ることができた。 ・図書館から主体的に働きかけ、関係機関や民間団体などと連携した共催・協働事業の実施に努めた。	3 大変評価する。 57.1% 2 ある程度評価する。 42.9% 1 評価できない。	・ボランティアの効果的な運用に努めている。 ・ボランティアの活動者数の減少は残念。「江南区ボランティア交流会」を開催し、意見交換や情報共有することは大変良い。 ・図書館側から関係機関や民間団体へ働きかけ、連携事業を実施したことは良い。 ・ボランティアの意欲を高める取り組みを今後も継続してほしい。 ・自己評価は、数値上の評価であり、外部評価としてはそれ以上の評価ができる。 ・協働の点では、ボランティアへの気遣いがあり、活動に喜びを感じている。	
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	-	4	5	5	2	5				
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	2	2	2	2	2	2				
共催・協働事業の実施件数(件)	20	17	15	18	3	16				
効率的・効果的な運営(職員)					自己評価		外部評価			
研修参加職員数(延人数)	96	68	70	75	3	75	・職員の実践スキルアップのため、積極的に研修へ参加し目標を達成した。	3 大変評価する。 85.7% 2 ある程度評価する。 14.3% 1 評価できない。	・職員の受付対応が穏やかで良い。 ・研修参加職員数が増え、スキルアップにつながって良い。 ・スキルアップのために今後も動んでほしい。	

※「自己評価」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った

※「自己評価」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った